

大阪湾漁場環境速報

平成23年1月8日発行
兵庫のり研究所

神戸港周辺～湾奥部～関西空港付近では、キートセロス等多種の珪藻（出現種は播磨灘北部沿岸域と同様）が増殖しており、同海域ではユーカンピアも認められました。また、年末年始の風波により、湾全般に海水が混合され、例年認められるスケルトネマ等による珪藻赤潮は確認されませんでした。今のところ、栄養塩は全域で十分量の値を示していますが、今後も冬型の気圧配置となる日が多い予報となっていますので、珪藻（ユーカンピア）の増殖、栄養塩動向に注意が必要です。

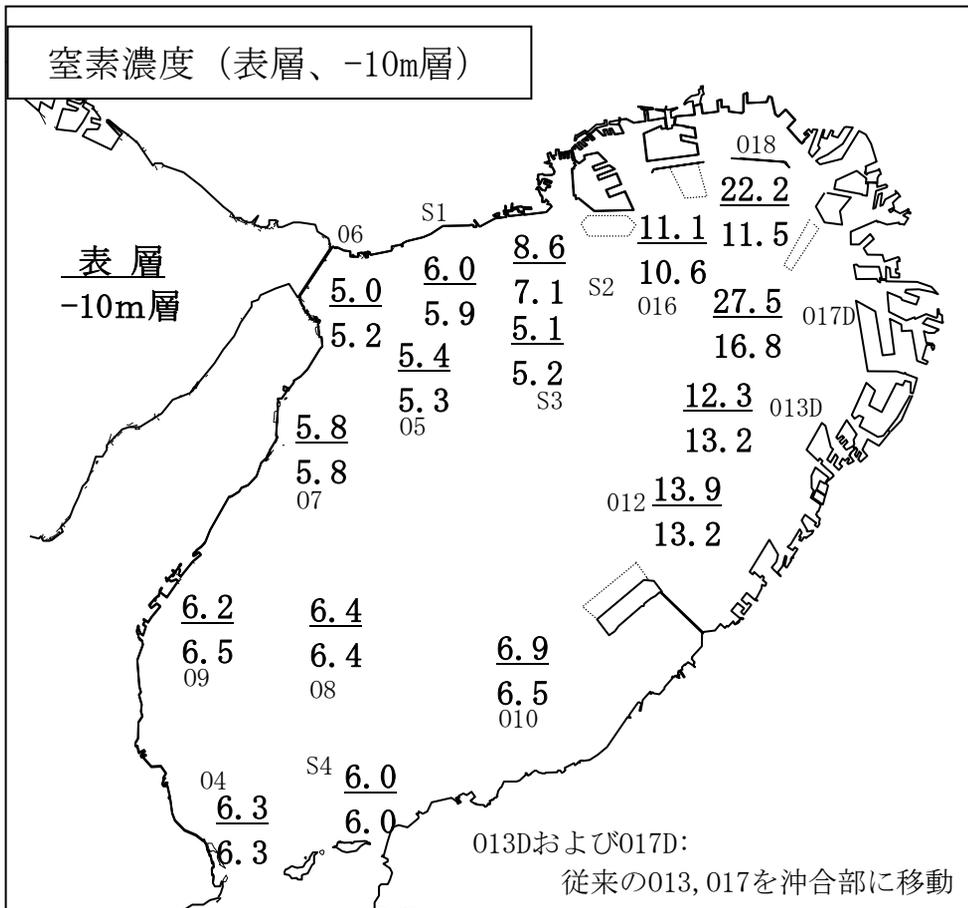
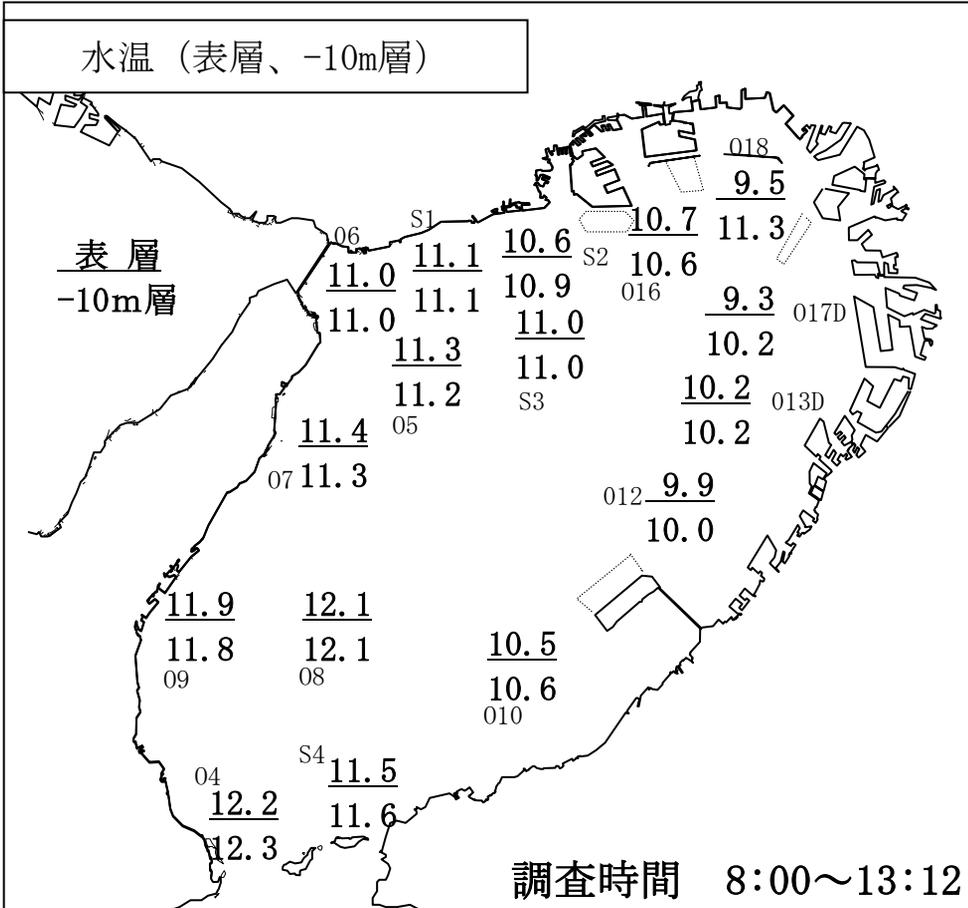
(水温) 表層は湾内9～12℃台で、平均11.2℃。昨年(10.4)比0.8℃高く、平年(11.5)比0.3℃低い。-10m層は平均11.2℃(平年11.8)。

(塩分) 表層平均32.27psu(平年 32.06)。-10m層平均32.31psu(平年 32.39)。

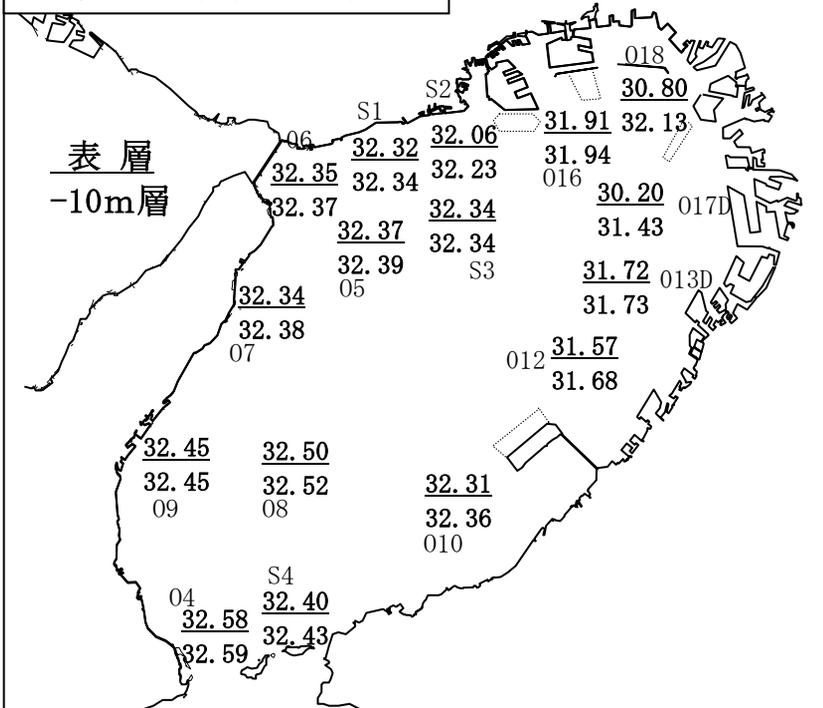
(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均7.1μg-at/L、リン濃度は平均0.62μg-at/L。窒素は平年(12.0)より低く、リンはほぼ平年(0.67)並。-10m層(平均)は、窒素6.9μg-at/L、リン0.62μg-at/L。神戸港周辺～湾奥部～大阪府沿岸を中心にキートセロス(数種・優占種)、デトヌラ等多種の珪藻が多く認められた。また、コシノディスカスおよびユーカンピアが湾全域で散見された。透明度は4.0～9.0mで、平均5.8m。pHは表層平均8.15。

上段 (今回値)	平成23年1月7日調査
中段 (昨年値)	平成22年1月15日調査
下段 (平年値)	

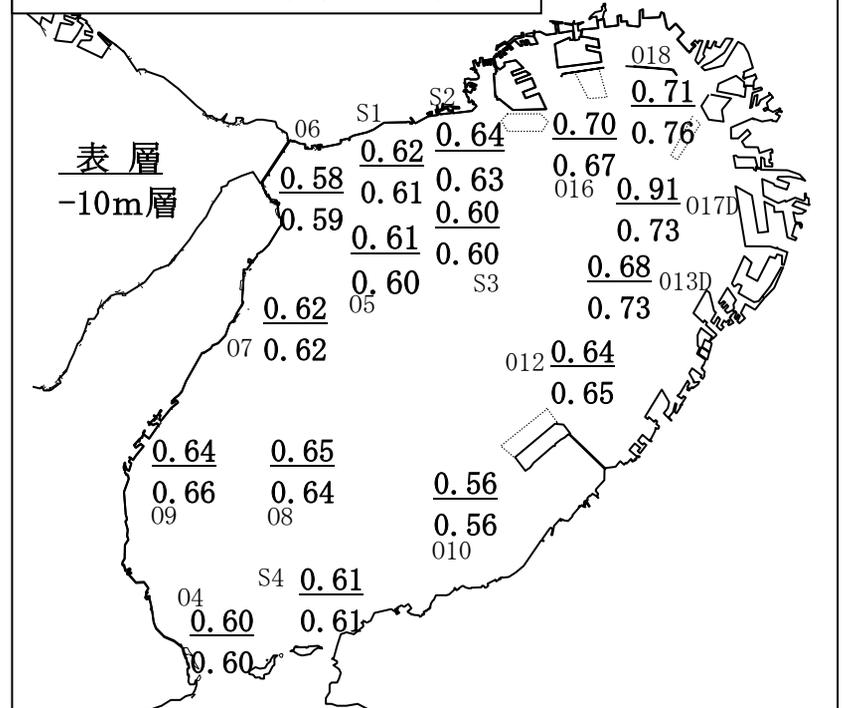
調査地点	水温 (℃)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	12.2	32.58	6.3	0.60
	11.9	32.74	7.2	0.69
	12.4	32.77	8.3	0.67
05	11.3	32.37	5.4	0.61
	10.0	32.29	5.9	0.57
	11.3	32.33	9.0	0.67
06	11.0	32.35	5.0	0.58
	10.2	32.40	6.0	0.64
	11.4	32.25	8.6	0.63
07	11.4	32.34	5.8	0.62
	10.3	32.35	6.4	0.64
	11.7	32.35	8.2	0.64
08	12.1	32.50	6.4	0.65
	11.6	32.63	7.2	0.70
	12.5	32.62	8.3	0.66
09	11.9	32.45	6.2	0.64
	12.0	32.74	7.2	0.68
	12.7	32.68	8.1	0.66
010	10.5	32.31	6.9	0.56
	10.3	32.37	7.3	0.69
	11.4	32.23	9.9	0.64
012	9.9	31.57	13.9	0.64
	9.6	32.02	6.7	0.49
	10.7	31.58	15.8	0.64
013D	10.2	31.72	12.3	0.68
	9.5	31.99	6.9	0.44
	10.0	30.97	25.7	0.79
016	10.7	31.91	11.1	0.70
	9.4	31.57	12.3	0.49
	10.1	30.41	25.7	0.75
017D	9.3	30.20	27.5	0.91
	8.1	30.70	18.8	0.46
	9.8	29.90	47.3	1.10
018	9.5	30.80	22.2	0.71
	8.4	30.86	17.7	0.47
	9.8	28.27	63.4	2.02
S1	11.1	32.32	6.0	0.62
	9.7	32.17	7.5	0.57
	11.0	31.75	14.3	0.71
S2	10.6	32.06	8.6	0.64
	9.2	31.57	11.2	0.43
	10.5	31.05	21.2	0.74
S3	11.0	32.34	5.1	0.60
	9.8	31.98	7.2	0.51
	11.0	32.10	10.3	0.65
S4	11.5	32.40	6.0	0.61
	11.7	32.70	7.3	0.66
	12.3	32.70	8.6	0.68



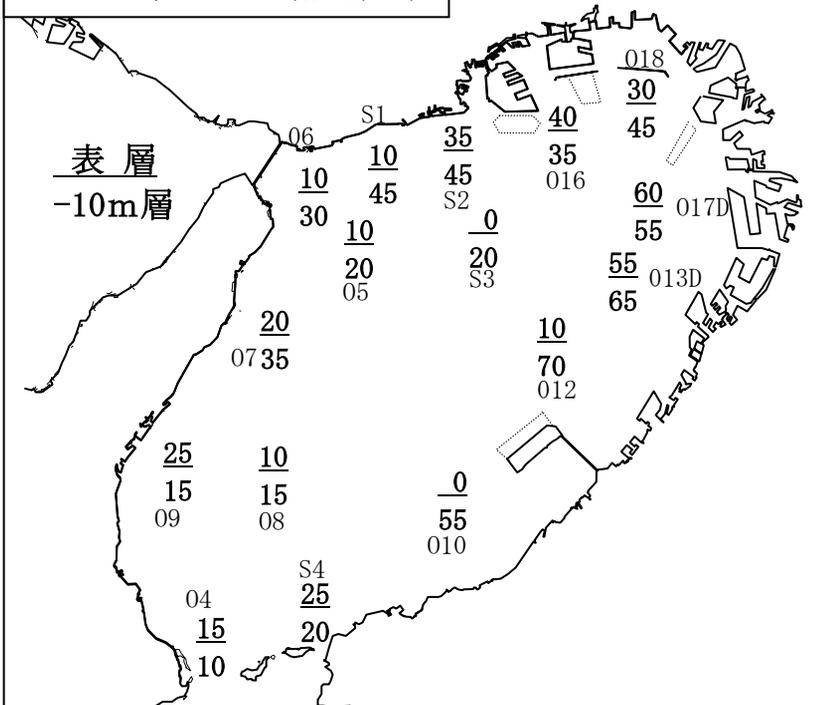
塩分 (表層、-10m層)



リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスクス (細胞/L)



ユーカンピア (細胞/m l)

